

G P A 制度

G P A (Grade Point Average) とは、学生の成績評価方法の一つであり、履修科目の成績の1単位あたりの成績平均を数値で表すものである。

学生へのG P A の通知は、成績表に記載することにより周知する。G P A の結果を学生自らが確認し、自分の履修計画の点検材料として積極的に活用するものとする。

なお、本校としてはG P A を成績順位等の資料として活用し、最優秀賞などの選考等に用いる。また、G P A が低い(=成績評価が低い)学生に対して、今後の履修計画等に関する修学指導の材料とする。

成績評価については、「S, A, B, C, D (不受験を含む)」の5段階で評価し(「S」の評価適用は新1年生のみ)、C以上で合格となる。また、G P (Grade Point)としては、「Sは4.0、Aは3.0、Bは2.0、Cは1.0、Dは0.0」とする。

区 分	成績記録	G P
合 格	S	4
	A	3
	B	2
	C	1
不合格	D	0

G P A 制度の概要及び種類等について

1. G P A 制度

G P A (Grade Point Average) とは、履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する方法であり、G Pに該当科目の単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する。計算結果は小数点以下第3位を切り捨てて表記する。

2. G P A の計算方法

① 年度G P A・・・年度ごとに算出したもの

当該年度に履修し成績評価を受けた授業科目全体のG P合計を当該年度の履修総単位数で除して算出する。

② 累積G P A・・・入学時から現在の学期まで通算したもの

入学時から現在の学期までに履修し成績評価を受けた授業科目全体のG P合計を入学時からの履修総単位数で除して算出する。